

馬宮中生 学習方法アドバイス 理科編

理科は、大きく分けて「生命」「地球」の分野と「物質」「エネルギー」の分野に分けられ、自分の得意な好きな分野とそうではない分野が出てくると思います。そのため、理科の学習方法について分野ごとの基本のアドバイスを記載しますので、学習の参考にしてください。

1. 教科書に必ず立ち返る

問題練習は、ワーク等を使って行いますが、語句の意味を知りたいときやどの語句が大切か知りたいときは、授業で使う理科の教科書を繰り返し読んでください。特に太字で書かれている語句が重要なので、定期テスト前に必ず確認しましょう。また、教科書を声に出して読んで、自分の声を聞いて、内容を考える勉強法もオススメです。

2. 集中して理科の授業を受ける

授業中は、先生の板書を写すことはもちろん大切ですが、板書はあくまで「まとめ」の役割です。授業中の先生の説明や先生、友達の意見、重要だと思ったことや気付いたことは、ノートやプリントにメモをするようにしましょう。また、理科には理科室にて観察・実験の時間があります。班活動になりますが集中して、「この実験はどのような結果になるか」予想を立て、手順の説明をよく聞き、結果を数字やグラフ、言葉でまとめることにより、教科書で得られるよりも何倍も忘れにくい、実感を伴った知識が得られます。観察・実験の時間を大切にしましょう。

3. 理科ノート(プリント)を見直す

理科の勉強は復習中心です。予習は、余裕があるときのみでよいです。理科の授業があった日は、家に帰って、授業中に書いたノートやプリントを短時間でよいので見直しましょう。なぜなら、授業中に先生が板書したことやその日の実験で得られたことが理科の要点だからです。自分が書いたノートやプリントを見直して大事なポイントを理解しましょう。

4. 理科のワークや問題を解く

問題を解くことで、自分の理解していないところを確認するのが目的です。丸付けをして「理解していない」ところが見つかったら、次の問題に進む前に間違った問題に印をつけます。自分ができなかった問題を記録しておくのがポイントです。最終的に、印のついている問題がすべて、自分の力で理解して解けるようになれば、学力が身についたと言えます。定期テスト直前には、印が付いているところを解き直しましょう。そして自力で解ける問題を増やしていきましょう。

5. 「生命」「地球」は重要語句の理解・法則の理解が中心です

「生命」「地球」の分野は語句を覚え、ワーク等の問題を解きましょう。問題を読みながら繰り返し解くことで単語を覚えるのと同時に意味を覚え、法則の理解が深まります。暗記は、家庭学習が主となります。

6. 「物質」「エネルギー」は計算や作図、事象の理解が中心です

「物質」「エネルギー」の分野は、ワーク等の計算・作図問題や、グラフ問題を解きながら事象を理解していきましょう。まずは、実験プリントを確認し、自分でまとめ直して理解してから練習するとよいです。問題練習をしたら解説をじっくり読みましょう。問題練習も、家庭学習が主となります。

以上、馬宮中生に向けてアドバイスをしました。これ以外にも理科の学習法はたくさんあります。興味があれば、先生に質問したり、自分で調べたりしてみてください。理科は性質の異なる「生命」「地球」「物質」「エネルギー」の4つの分野が集まっています。得意な分野から身に付けて、理科に対する自信をつけていきましょう。